

おんじゆく

11

昭和58年11月

第241号

千葉県御宿町役場



空からみた姉妹都市 アカプルコ

急ピッチで進む建設工事

町では、地元の皆さんをはじめ、国や県と協力して道路などの生活環境の整備を積極的に進めています。

今年度は、厳しい財政ですが建設事業費として約五億二千万円（昭和五十八年度一般会

計当初予算）が見込まれており、現在、急ピッチで工事が進んでいます。そこで今回は、現在、町内で進められている主な建設工事のあらましを紹介します。

■ごみ処理場着工

五十八、五十九年度の二カ年で建設されるごみ処理場の起工式が、十月十七日、久保・五霊地先で行われました。

昭和五十九年十二月に完成予定のごみ処理場は、一日十六時間稼働で、六十トンのごみを焼却できます。

総工費は七億三千五百万円ですが、今年度は約六千万円メートルの敷地造成と建物の基礎工事に約七千万円を投じ、現在工事を進めています。

■裾無川などの河川改良

河川の改良は、洪水や高潮などの災害を防ぐだけでなく、流水の浄化に大きく役立ちます。

今年度は、継続事業の裾無川の改良に二千三百万円を投じ、護岸工事七十五メートル分と、

橋のかけ替えが行われています。このほか、岩和田・堺川の河床・床止工事も実施しました。

■町道須賀・実谷線 道路改良

駅裏の須賀・部田地先から実谷地区に通じる町道須賀・実谷線は、国、県などの補助金で、幅員十二メートルの道路に拡幅されます。

今年度の事業費は、一億八千万円。道路改良、延長五百四十メートル。舗装工事、四百四十メートルが進められています。

■御宿漁港改修

昭和五十七年度から始まった御宿漁港の改修工事は、二年目を迎え、今年度七千万円の事業費で、物揚場三十五メートルの改修と防波堤百九メートルの工事が行われています。

この改修工事は、国の第七次漁港整備計画により、昭和六十二年度までに約四億円の事業費が投じられます。

■上布施土地改良事業

農業の近代化を図るため進められている上布施地先の土地改良事業は、今年度で工事が完成



▲上布施土地改良ため池改修(小幡・鎌田堰)

昭和五十五年から始められたこの事業は、四年間で二十ヘクタールの農地に一億八千五百万円の事業費が投入されています。

■向井線林道の開設

農林業の基盤整備には、今年度から新たに上布施地先で林道向井線の開設に着手。初年度は、一千万円の予算で延長三百メートルを開設します。幅員は四メートルです。

また、同じ上布施地先の林道丸山線では、舗装工事を進めています。



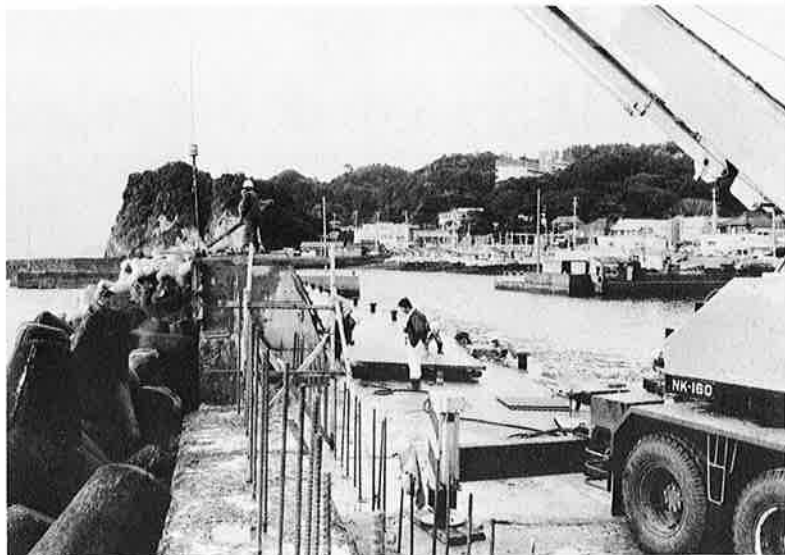
▲始まったごみ処理施設用地造成

■町道二十三路線の整備

町民のみならずからの要望が多い町道の整備は、生活環境を守るうえで、不可欠なものです。今年度は、七千万円の予算で久保・一本橋のかけ替え工事はじめ、二十三の路線で舗装工事、排水工事などが進められています。

■防火水槽の新設

みなさんの生命、財産を守るため町では定期的に防災施設や器具の整備を行っています。今年度は、高山田・西林寺地先と岩和田地区に、七十トン貯水の防火水槽を新設します。

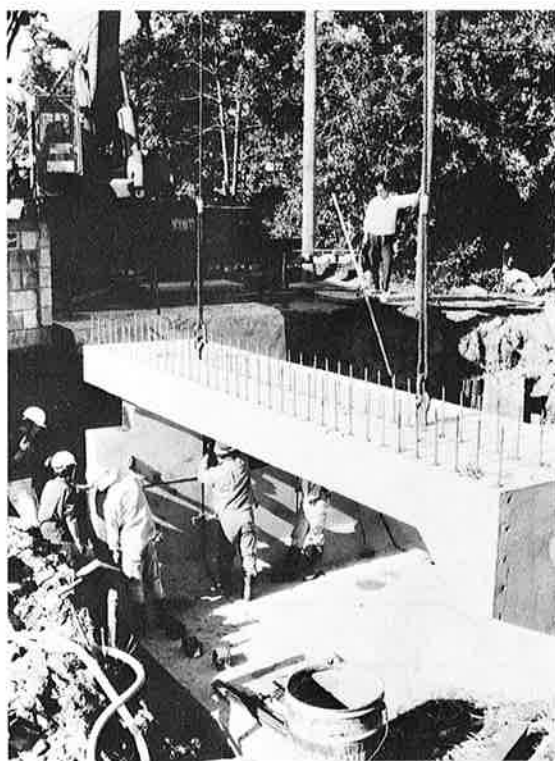


▲防波堤の改修(御宿漁港)

▶新町・汐見橋のかけかえ工事 (裾無川)



▲上布施立山地先を起点とする幅員4mの林道(向井線)



町の重要な財源に

たばこは
地元で買い
ましよう

たばこには、県と市町村の「たばこ消費税」が課税されています。

この税金は、たばこの販売価格に含まれ、二十本入りのたばこ一箱には、銘柄に関係なく、次の税額となっています。

○県分 約十八円

○市町村分 約三十一円

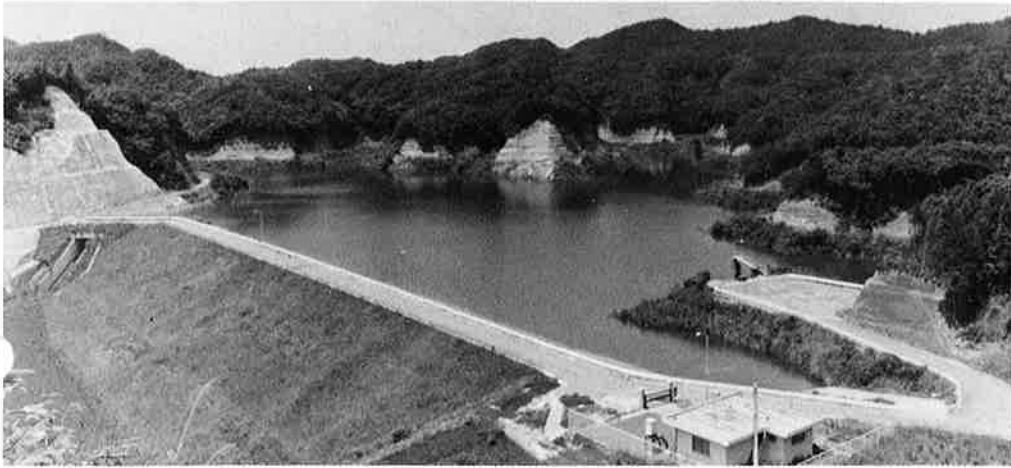
「たばこ消費税」は、たばこが販売された県と市町村に、日本専売公社が納めます。

五十七年度に、町に納められた「たばこ消費税」は、約四千万円。町税収入の九パーセントを占めており、わたしたちの町を、より暮らしよくするための貴重な財源となっています。

たばこは地元で買うようにしましょう。

なお、たばこの吸い過ぎにはくれぐれも注意してください。

水道事業の業務状況〔58年度上半期〕



水使用量二割伸びる(前年同期比)

昭和五十八年度の水道事業経営は、前年度に引続き、経常経費の節減を行いつつ、赤字幅の縮小に寄与できるよう配慮した予算編成としましたが、上半期(五十八年四～九月)の予算消化状況は(表一)の通り推移しています。

業務量については、給水状況のうち、普及率で八・二パーセント、給水量で二十一・六パーセント、使用水量で二十・六パーセントと大きく伸びています。昨年の冷夏と本年八月の暑い

夏という気象条件と新規加入増(百八十七戸)による水使用量の増加で給水収益は二十二・八パーセントの伸びを示しています。

一方、受託工事収益は、昨年同期に比し、五百三十万円の減となっています。

水使用量は、率にして、二十・六パーセント。量で三万五千トン強の伸びを示し、月平均五千九百トンほど伸びています。

夏の観光の最盛期になって、一部地域(天の守)で、水需給のアンバランスから一時的に断水状況となりました。この対策については、新年度の課題となります。

経理の状況

収益的収支は、六百七十五万七千円の黒字。収入総額四千六百六十二万円に対し、支出総額三千九百八十六万三千円となっています。

収入額は、前年同期比、三百四十三万四千円の減。支出額は四百九十三万五千円の減となっています。収支とも予算の消化が遅れているといえます。

資金収支額(表二)は、本年度は、九千四百三十七万二千円(前年同期一億四千二百四十四万二千円)で、前年度比四千八十七万七千円の減となっています。

表一
予算執行状況(58・57年度比較)

収入 (単位千円)

項目	58年度予算執行額	57年度予算執行額
給水収益	28,494	23,200
受託工事収益	6,395	11,719
手数料	0	0
預金利息	1,731	5,134
一般会計補助金	10,000	10,000
県補助金	0	0
計	46,620	50,054

支出

項目	58年度予算執行額	57年度予算執行額
原水及び浄水費	9,612	9,540
給水及び配水費	3,500	5,023
受託工事費用	4,653	4,406
総係費	6,024	5,715
減価償却費	0	0
支払利息	16,074	20,114
予備費	0	0
計	39,863	44,798

表-2

資金収支

受入金	金額	支払金	金額
給水収益	28,439,250	営業費用	39,865,724
受託工事収益	6,395,079	建設改良費	454,000
受取利息	1,731,281	企業債償還金	3,606,506
納付金	5,580,000	仮払金	113,190
町補助金	10,000,000		
負担金	1,360,000		
前年度繰越金	84,905,363		
計	138,410,973	計	44,039,420

○固定資産の状況

土地 一億百八十万八千円。
 建物 二億五千四百八十八万八千円。
 構築物 十四億六千六百五十七千円。

機械及び装置 三億二千七百七十一万九千円。
 車両及び運搬具 三十一万五千円。
 固定資産合計 二十一億四千四百七十八万七千円。

差引収支 **94,371,553円**

○企業債の現況

借入元金 四億五千七百九十
 二万五千円
 借入金に對する今後の支払利息は、四億七千七百七十三万円、最終支払年月は昭和八十四年三月となっています。
 なお、今年度は、下期（五十九年三月）に元金三百七十一万八千円。利息千五百九十四万五千円を支払う予定です。

○給水原価

九月末現在の原価は、百六十九円ほどで、かなり安くなっています。費用の支払が少なく、今後大きな費用がでてきますので、これから原価が高くなり、最終的な決算時点の原価はおそらく三百三十八円くらいになるものと予測しています。

○料金収入に對する人件費の比率

九月末現在で四十二・四パーセントで、水道の売上げの半分以下で推移しています。
 最終決算予測では、この率が五十パーセントとなる見込みです。つまり水道の売上げの半分が人件費ということになります。

給水状況(9月末現在)

区分 年度	行政区内(A)		給水区域内(B)		給水実績(C)		普及率(C)/(A)		給水区域普及率(C)-(B)		計画給水区域普及率(D)
	戸数	人口	戸数	人口	戸数	人口	戸数	人口	戸数	人口	人口
58年度	2,450	8,608	2,043	6,938	1,600	5,165	65.3%	60.0%	78.3%	74.4%	41.3%
57年度	2,426	8,656	2,017	6,974	1,413	4,868	58.2%	56.2%	70.1%	69.8%	38.9%
増減数(Δ)	24	△48	26	△36	187	297	7.1%	3.8%	8.2%	4.6%	2.4%
増減率	1.0%	△0.6%	1.3%	△0.5%	13.2%	6.1%	—	—	—	—	—

給水量等(9月末現在)

区分 年度	総給水量	有収水量	無収水量	1日最大給水量	1日平均給水量	1人1日最大給水量	1人1日平均有収水量
58年度	230,162 m ³	208,555 m ³	21,607 m ³	2,950 m ³	1,258 m ³	571 ℓ	221 ℓ
57年度	189,340	172,978	16,362	2,530	1,035	520	194
増減数(Δ)	40,822	35,577	5,245	420	223	51	27
増減率	21.6%	20.6%	32.1%	16.6%	21.5%	9.8%	13.9%

新しい青少年相談員決まる

十月二十五日、青少年相談員の任命式が、町社会福祉センターで行われました。

青少年のよき相談相手となる青少年相談員は、各地区から選ばれた十八名で、知事と町長から委嘱されるものです。

青少年の非行防止のため、スポーツ大会の開催や夏の海岸バ

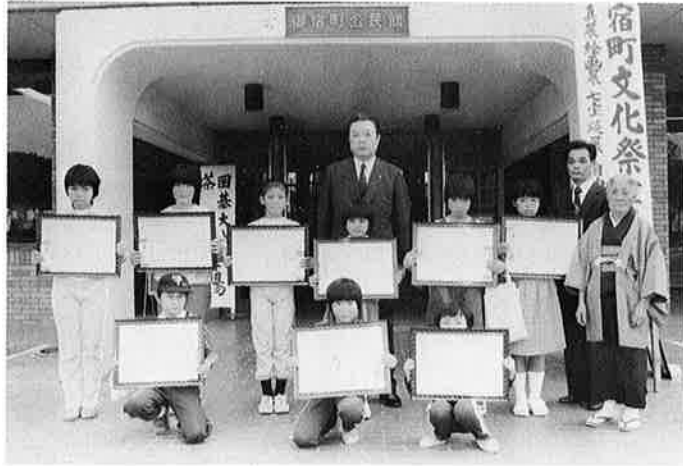
トルールなどを行い、健全な町づくりの担い手として活躍が期待されます。

なお、青少年相談員連絡協議会の会長には、実谷の君塚俊成さん、副会長には、岩上日出夫さんと石井立成さんが選出されました。

御宿町青少年相談員名簿

(昭和58年10月1日現在)

氏名	住 所	電 話	備 考
玉川 勉	須賀612	2924	
渡辺 正実	須賀560	2548	
伊藤 明広	浜418	2587	
大谷 信之	浜444	3131	
滝口 和広	高山田1,072	5290	
高梨 知	久保2,052	4602	
白鳥 洋治	久保1,960	2752 3609	
石井 立成	新町411	2505	副会長
奥原 まさ子	新町170の34	3727	
藤井 利一	新町835	2857	
渡辺 要之助	新町446	2838	
田中 とよ子	六軒町366	3782	
加藤 康夫	六軒町505の1	2130	
岩上 日出夫	岩和田1,097	2348 4619	副会長
高梨 もと江	岩和田919の2	2733	会計
玉置 保夫	岩和田822	4204 4370	
石井 広	上布施1,674	2640	書記
君塚 俊成	実谷1,296	2275	会長



かくれた善行者を表彰

御宿町「小さな親切」実行章

今年の御宿町「小さな親切運動」実行章が決まり、十一月三日、「町民文化のつどい」の席上、高梨町長から表彰状と記念品が贈られました。

今回、表彰された方は、十二名。広報紙を通じ、受章者を紹介して、小さな親切の輪をさらに広げたいと考えます。

●受章者紹介

○新 町

神代満寿男さん

岩和田漁港岸壁から転落負傷した釣り人を、自分の車で病院に運び、治療した後も、自分の車で負傷した方を自宅まで送り

届けました。

○岩和田 天津ぬじさん

天津さんは、八十八歳の高齢にもかかわらず、サンドスキー場登り口などの草刈りや、町民清掃日には率先して地区の方々に動員、清掃にあたっています。

また、岩和田お地藏講のリーダーとして、月一回お堂を開放。お年寄りの安らぎの場をつくるなど、その活動と無心の奉仕精神は、地域の人々から賞讃されています。

○御宿小学校五年

太田 秀幸くん

太田くんは、夏休みのころから、毎日のように、目の不自由なマッサージ師の方を、駅から仕事先へ、テルまで、手を引

て送り届けています。この努力とやさしい心は、周囲の人々を感動させています。

○御宿小学校五年

田仲 千穂さん

田仲さんは、帰宅途中に国道に向って歩いていく目の不自由な人に出会いました。危険を感じた田仲さんは、目の不自由な方の手を引いて、歩道を渡り、駅まで送りました。そして乗車を見届け、手を振って別れました。その純粋な親切に、讃辞を贈ります。

○御宿小学校四年

大谷 裕子さん

水上佳代子さん
星野 敬子さん
木原 誠くん



▲海洋センターを中心に健康づくりのための各種運動器具を配備

健康で明るい生活は、みんな

健康で明るい生活は、みんな 体力づくりに一役 健康で明るい県民づくり運動

の願いです。町では、五十八年度の「健康で明るい県民づくり運動」を推進するため、昨年に引き続き運動器具を購入しました。お気軽にご利用ください。また、推進員も新たに四名が委嘱され、町民の健康づくりのお手伝いにあたります。

「健康で明るい県民づくり運動」推進員

氏名	住所	連絡先
高梨秀夫	須賀153	2044
高梨勉	浜364	2860
高梨嘉	岩和田716	3415
石塚嘉	上布施1933	4306
石嶋敏	久保598	4462
井上重	" 2102	4244
井上隆	岩和田810	3480
若山重	七本591	5144
吉野雅章		

(敬称略)

健康で明るい県民づくり運動整備用具

用具名	数	配置先
ゲートボール用具	3組	社会福祉センター
血圧計	2台	"
オリエンテーリング用具	1式	公民館
上体そらし測定器	1台	海洋センター
体前屈測定器	1組	"
握力計	2ヶ	"
背筋力計	1台	"
歩数計	30ヶ	"
バドミントン用具	3組	"
バレーボール用具	1組	"
ローイング※	1台	"
エルゴメーター(固定自転車)※	1台	"
ユニ・ホック(室内ホッケー)※	2個	"
綱引ロープ※	2本	公民館
ストロップ・チ※	4個	海洋センター

※印は58年度購入

大谷さんたち四人は、けがをした友人をかばい、カバンを持ったり、階段の昇降には肩を貸し、また、トイレに入る時は、松葉杖をもつなど、長い間決して親切。

○御宿小学校四年

大谷圭祐くん

現金一万五千円と免許証などが入った財布を拾い、直ちに警察に届けました。財布は、東京の持ち主に無事届き、深く感謝されました。

○岩和田小学校五年

永野陽子さん

とされるのを見かけ、行き先を尋ねながら、入り混んだ道を手を引いて、無事送り届けました。

○布施小学校二年

吉野こず江さん

とすのを見かけ、行き先を尋ねながら、入り混んだ道を手を引いて、無事送り届けました。

○布施小学校二年

吉野裕美さん

吉野さんは、友だちが自転車で乗ったまま、川に落ちたのをみて、すぐに近所の大人を呼び友だちを無事救助しました。

てあげました。



手芸展

今年も盛大に 文化祭



茶道

十一月三、四日の両日開かれた御宿町文化祭。会場となった公民館と御宿小学校の体育館には、小学生からお年寄りまで、多くの方々の作品が展示され、町内の芸術・文化の高まりを感じさせました。



自由作品展

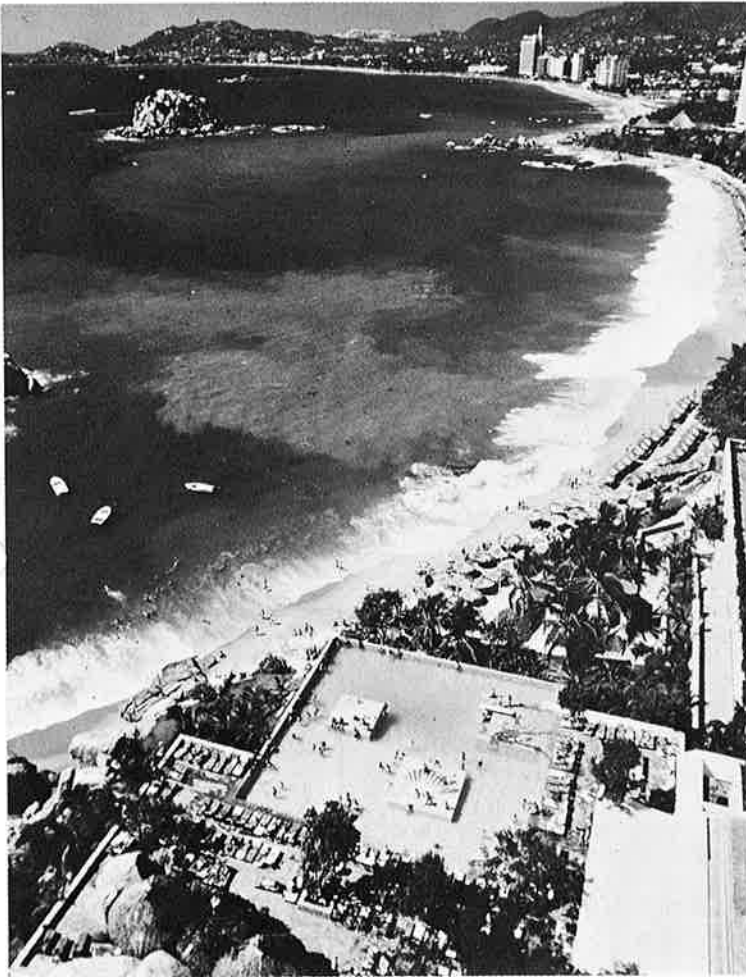
永遠の友好のために

ロペス大統領来町から五年

今年、世界コミュニケーション年。そしてメキシコのロペス大統領がわが町を訪れてから五年目にあたります。

町では、昨年御宿・アカプルコ姉妹都市委員会を設け、メキシコ・アカプルコとの友好を、一層深いものにしようと考えています。

そこで、今回の『広報おんじゆく』は、メキシコ・アカプルコ特集を組んでみました。



▲5キロのひろがりをもつアカプルコ湾

姉妹都市

アカプルコ市のあらまし

アカプルコは、首都のメキシコシティから南に四百三十キロ、空路なら四十五分、自動車なら五、六時間の位置にある。

五キロのひろがりをもつアカプルコ湾、点在する二十のビーチ、それをとり巻く、たぐいなし風景の美しさ。アカプルコは四季を問わず世界の観光客を集めている、国際空港を持つ観光都市である。

現在アカプルコのホテルは、ピンからキリまで約四百。ピン

であるアカプルコ・プリンスホテルは部屋数七百八十室、プール、テニスコート、十八ホールのゴルフ場、その他スポーツ施設の整った世界三大リゾートホテルのひとつである。

アカプルコ全部の客室総数は二万室、五万ベット。年間観光客数二百五十万人。

このアカプルコも一九三〇年（昭和五年）には、人口二万人の漁村であった。最初のホテルが建てられたのが、この年。



▲アカプルコ周辺は好漁場でもある



▲死のダイビングで有名なラ・ケブラダ大断崖

一九五〇年（昭和二十五年）ごろから人気が出始める。
一九六〇年（昭和三十五年）のアカブルコの人口は、七、八万人であった。一九六〇年から一九七〇年の十年間に、人口が二・八倍増えた。そして一九八〇年までの十年間に、更にその一・六七倍に増えた。

アカブルコ市の人口が混乱するのは、この爆発的な伸び方に起因する。案内書を見れば、二十五万人、三十万人、四十万人あるいは、八十万人とまちまちである。最も正確な数字は、一九七六年調査の四十七万二千人である。現在は五十万人位なのであろうか。

一九七八年（昭和五十三年）に、御宿町の商工会青年部の民間使節団と、アカブルコ市役所を訪問した折、フィゲロア市長は「あなたの方のなかで、アカブルコ市に残って、日本のすぐれた漁業技術を指導してくれる人が何人かいたら、市の人口はすぐ百万人を超えるでしょう」と挨拶されたのを思い出す。

一九八一年（昭和五十六年）に、私がアカブルコ市役所にアミン市長を訪問したとき、アカブルコ市は雄大な都市計画に基づく、大改造工事が行われていた。つまり、いままでの急激な発展、拡張による歪みを修正整備するため、この年から、全市の再開発にとりかかっていた。市がこの大手術に組んだ予算

は、三百ミリオングラマー（三億ドル——七百二十億円）という膨大な額である。いま、メキシコは経済危機で、どうなっているかわからないが、このオーバーホールが終了したとき、アカブルコはまた一段と人気が増えることであろう。
（御宿・アカブルコ姉妹都市委員長 金井英一郎）

ニコシに乗った大統領

金井英一郎

慶長のきずな再び

昭和五十三年三月。一隻の瀟洒な船が、日本政府からメキシコ国に寄贈された。海外漁業協力基金による調査訓練船である。ロペス大統領は即座に、この船名を「オンジュク丸」と命名した。オンジュク丸は今もメキシコ湾を舞台に活躍している。

もちろん理由がある。まず次のような史実がある。

同年八月、人口八千人の御宿町は、国際空港を持つ観光都市アカブルコと姉妹都市協定を結んだ。

『今を溯る』^{さかのぼる}三百七十年前、一六〇九年（慶長十四年）、スペイン領フィリピン総督ドン・ロドリゴを乗せた帆船サンフランシスコ号は、メキシコへ帰港中台風に遭遇し漂流、嵐のなか、上総国岩和田村（現御宿町）の岩礁に座礁した。九月三十日未明のことである。

そして秋ごろ、ロペス大統領が国賓として来日の折、特に御宿町を訪問されるという、夢のような知らせを受けた。

岩和田村の住民は、直ちに村を挙げての救出活動を展開し、乗員三百七十三人中、五十六人は溺死したが、三百七十七人を助け出した。このとき若い海女た

ちは、溺者を素肌で温め蘇生させたと伝えられている。
異国の遭難者三百十七人は、総人口三百人の村に分宿、保護された。

大多喜城主本多忠朝の明断により、遭難者たちは、三十七日間村人の手厚い保護を受ける。ドン・ロドリゴは江戸城で將軍秀忠に、駿河城で家康に謁し、翌一六一〇年、家康が三浦安針に建造させた帆船アエナ・ヴェントーラ号で、無事メキシコに帰港した。』

この慶長のきずなが再燃したのは、いろいろなきっかけがあるが、具体的には昭和五十年ごろから始まった、町の商工会青年部の積極的な民間国際交流活動が高く評価される。

オール・オア・ナッシング

ともかく大統領が来町される。日程では十一月一日の午前中しか時間がとれないという。御宿訪問後、史実で関連する大多喜町も日程に組みこまれている。

そのため自衛隊の最新鋭ヘリコプターを使い、在留時間は両町とも四十五分ずつであるという。更に、外務省、防衛庁から細部の説明を聞いた私は、思わず「ウーン」となった。

なにしろ一国の元首を乗せるヘリコプターである。雨、風、視界、雲、すべてにビククリす

るほど厳しい条件がついている。

雲が八分の五以上なら、つまり空に半分以下雲があれば、ヘリは飛ばない。ということは大統領は来ない。この日、この時ダメなら、在日四日のびっしりスケジュールはやりくりがつかない。来訪行事は一切取止め。代理に夫人が車でやってくる、ということもない。

これは大きなカケだ。高校野球の決勝戦は勝てば優勝、負けても準優勝。一〇〇とれなければ五〇とれる。しかし

この大統領の来訪は、一〇〇でなければゼロ。オール・オア・ナッシングである。そんな条件のなかで、準備作業四ヶ月。もし、天気が外れたら——

実は歓迎準備に五千万円以上かけている。

大統領をミコシに乗せる？

商工会青年部の若者たちが、どえらい申し出をしてきた。ミコシをくりだして、大統領を乗せてしまおうというのである。

私は膝をたたいた。素晴らしいアイデアだ。町民とのスキンシ

メキシコ公園工事のように、そっくり残るのはよいが、記念品や飾りつけ、ヘリポート工事などはすべてムダになる。さんざんの批判が目に見えている。作業は不安と背中合わせで進められた。

アップに、最高の迎え方だと思っただ。躍動する若者たちの肩の上で、御宿の心を感じとってもらおう。

外務省で行われた第一回の打合せ会議での私のミコシ発言は、外務当局、警備当局の目を白黒させた。予想されたことである。

一国の元首に事故があれば事は重大、国際問題にまでなる。警備当局の強い制止、外務当局の難色は、常識としてむしろ当然であつたらう。

しかし、私は譲らなかつた。「慶長十四年にスペイン人を助けたのは、上からの命令ではありません。住民の意志なのです。その人類愛のきずなで、大統領が来られるのです。迎え方については、住民の意志を尊重していただきたい」

この押問答は、来訪直前まで続いた。

私は九月に、商工会青年部の若者たちと使節団を組み、訪墨して大統領府におもむき、大統領にミコシに乗っていただくことを打ち合せてきた。ロペス大統領が何者かに狙われる要素はなにひとつ無い。私たちは独立記念パレードで、車の両側を埋める群衆の歓呼に、両手を挙げて応える陽気でフランクな大統領の姿を見た。私たちが大統領のことを知っている、という強い自信があつた。

主張はただひとつ。「大統領ご自身に乗るつもりなのだから、仕方ないでしょう」心配はただひとつ。ミコシに乗ろうとする大統領を、なんらかの力が制止させてしまうことであつた。

これはまた、もうひとつの大きなカケであつた。懸念するマスコミの質問に、私は胸を張って答えた。

「大統領は、間違いなくミコシに乗ります。私は大統領と約束しているのです。」

これは面白そうだと期待したテレビ、新聞、週刊誌、おびただしい報道陣が、各社ベスト・スタッフを揃えて数日前から御宿に繰り込み、前景気はいやが上にも盛りあがった。

しかし悪天候がつづき、毎日雨模様であつた。その雨の中で若者たちは、連日、大統領がへ



▲ミコシに乗った大統領
(昭和53年11月1日)

りからミコシに乗り移り、町民の間を練り歩く「その五分間」のりハーサルをくりかえし、これを見物する観衆が大勢おしかけた。眺める警備当局の視線は、

「やった、やったあ！」

気をもませる天候が続いた。前の晩も無情な雨が降った。

そして、その朝……晴れた！
ロベス晴れだ！

時がきた。寸分たがわず、その時間にへりがやってきた。そしてホントに大統領が降りてきた。

「エルマーノノ（兄弟よ）」と私の手を握った。大きな温かい手だった。そしてためらいもせず、ぴたりと横づけしたミコシに乗った。若者代表から差出されたハッピを着て、日の丸の扇を受けとる。若者たちのミコシが「セエーノ、イエーッ」のかけ声と共に高々とかつぎあげられる。大統領は日の丸の扇をかざし、歓呼の大群衆に向かって叫んだ。

「やってきたよ、兄弟」と。ウワンとどよめく大歓声。一斉に打ちあげられた花火も、笛や太鼓の祭ばやしも、かき消されんばかり。りハーサル通り、熱狂する町民の歓呼のなかを、揉まれながら練り歩く大統領の

依然として冷たかった。

これでもし大統領がミコシに乗らなかつたら——張本人の私はホトボリのさめるまで姿をくまらず外はない。

ミコシ。すっかりリズムに乗って、日の丸の扇で調子をとる大統領。

千人の住民と握手をした

このあと大統領は車でメキシコ公園のテープカットに、そしてホテルでのレセプションへと移動する。私は先行して各会場の司会をつとめる。最初良ければすべてよし。山の上のセレモニーも、ホテルのレセプションも、なにもかも最高の出来。大統領は予想通り、常に千両役者だった。

レセプション会場の外には、ヘリポートに向う車列が予定より遅れている時間を気にして、ドアをあけて待っていた。ところが大統領は車に乗らず、ひとりでスタスタと群衆のなかに歩き出してしまった。随行の集団はビックリして後を追いかけた。ヘリポートまでの二百メートルを、大統領は群衆に握手の手を差ししながら歩いた。ときど

期せずして起こる「ビバ・メヒコ、ビバ・メヒコ」の町民の大合唱。熱狂の極、どよめくメヒコ・フィバーのなかを叫びながら駆けまわる報道陣。

「やった、やったあ！」

私は大声で叫び続け、こぶしで自分の太腿を連打していた。もう大統領の姿など、涙にかすんで、なんにも見えやしない。

大きな両手を挙げて、「ビバメヒコ、ビバ・メヒコ」の大歓声に応えた。

あらゆる紙面、すべてのチャンネルが、この熱い光景をトップニュースで日本全国に報道した。ミコシで日の丸の扇を振る大統領を、そして大群衆のなかを握手しながら歩く大統領を。

その夜、宮中の晩さん会で、大統領は天皇陛下に話された。「私は今日、オンジュクで若者たちのミコシに乗りました。生まれてはじめての、素晴らしい感動を味わいました。」

「テレビで見ました。本当に良かったですですね。御宿の人たちも喜んでいてでしょう」と天皇陛下は答えられた。

メキシコ大使館からの電話。「日本滞任四日間のなかで、大



▲オンジュク丸の活躍を報じるメキシコの週刊誌(58. 10)

統領は御宿の印象がきわだって強烈だったらしく、そのことばかり話題にされています。

日本全国に「ミコシに乗った大統領」との親愛感をふりまいた、メキシコと日本の距離をぐっと縮めてくれた御宿の皆さんに、心から感謝しています。」

テレビのクイズ番組にも登場した。御宿でミコシに乗った大統領は？「メキシコのロベス大統領」「はい正解です」

新聞論評をひとつ。

『ロベス大統領は、御宿の町で千人の住民と握手を交わした。しかし、他の訪問先では、用心深い役所のロープにさえぎられて、その土地の有力者の十数人としか握手できなかった』

そう言えば私も言われた。「ミコシに乗せるなんてとんでもない。五十メートル開けてロープを張って、その間には猫の子一匹通さない」と。

後日談をひとつ。

『メキシコのカンクン・サミットで、鈴木・ロベス会談の冒頭、大統領はミコシをかつぐ身ぶりおかしく、三年前のオンジュクの思い出を語り、期せずして和気あいあいの雰囲気の中で会談ははじまった』(昭和五十六年十月二十三日・読売新聞)

筆者は
御宿・アカプルコ姉妹都市委員長、当時の大統領歓迎実行委員長

久し振りに御宿を訪れた人に、「御宿はずい分変りましたね」と言われて、「そうですか？」と甚だ間の抜けた返事をする事がある。

昨日から今日、今日から明日と微細な変化の連続の中に身を置いてみるとわからないのである。改めて考えると、変わったことは理論的にはわかる。が、実感が伴わない。時々刻々の少しずつの変化も、何十年の積み重ねになれば顕著な変化になるはずで、何十年振りの人にすれば、変り方の激しさに驚かされるわけであろう。

この写真は、昭和十年頃のものとと思う。見る程に、いろいろな事が思い出されて懐しい。まず驚くのは、人数の少なさである。絵葉書にする位だから、当然夏の最盛期に撮ったのだろうが、寥寥たるものである。当時、海水浴をする人で一番多かったのは、当地出身の帰省者を含めた土地の人であつたろうと思う。その次が貸家・貸間に来ていた人や別荘族で、これらは殆んどが長期滞在者であつた。

あとは少数の旅館宿泊者で、東京からの日帰り客は、殆んどいなかった。御宿で海水浴をしたのは、土地の人は別として、外来者について言えば、経済的

〈なつかしの風景〉



海水浴場今昔

久保 岡村 甲純

にかなり恵まれた人達だった様である。

当時、最高の人出は一日二千人位と聞いたことがある。現今の一日十数万人に比べると、正に桁違い、それも二桁である。

その頃はまだ観光協会はなく、商工会事業の一環とされていたと思う。町で中央海水浴場に案内所兼無料休憩所を設けてあり、波乗り板を一回二銭で貸していた。商工会役員であつた父が、何日かに一回の割でそこに詰めていたのを覚えていた。

・見張台という言葉も懐しい。しかし、見張人がいたかどうか定かではない。当時私は、波乗

りに凝っていて、台風前後の波の時など好んで海に入ったが止められたりした記憶がないので、多分居なかつたのではないだろうか。

今の中央海岸しか知らない人にとっては、写真の砂丘は大きな驚きではないだろうか。現在の月の沙漠記念像から町営プールにかけてである。高さは優に十メートルを超えていた。

昔、御宿を訪れた事がある人に「一番印象に残っているのは」と聞くと、この砂丘と答える人が多い。言わば御宿の象徴だったのである。それが今はない。あの大量の砂は、どこへ行って

おんじゆく

秋耕の海女一坪の屋敷畑
露草や忘れ置かれし兵の墓
秋の雲浮べて山の女学校
す、きみな月待つごとく風情あり
帰省子の洗車のしぶき軒にたれ
秋ざくら相手変りし立話
草の花過去よりほかは語りえず
秋耕の女夕日の中にをり
鷺一羽置いて荒涼たる刈田

伊藤十九二
嗟哉 通惠
猪鼻 幸衛
宮口 利晴
斉藤 月子
吉田 子陽
土井 久恵
岩瀬 京子
石田ゆき緒

しまったのだろうか。私はよく海岸に遊びに行ったが、一番の遊び場は、私たちが「砂山」と呼んでいた砂丘であった。かけ登ったり、滑り降りたり、穴を掘ったり、今にして思えば美しい大自然の中での恵まれた遊びであった。

画面の中央に海水パンツのオジサンがいる。当時の海水浴ファッションは男性に限っていた。えいば、六尺褌が主流であった。統計その他の資料によるものではないから独断と偏見であるが。その次が猿又(パンツではない)

それから、土地の人には少なかつたが海水パンツ。まれに越中褌。してみると、海水パンツを主役に据えたのは、近代的な海水浴場であることを誇示するための策略か。いやこれは考え過ぎというもので、全くの偶然であろう。

以上、写真についての思い出を書いたが、何しろ五十年近くも昔のことである。覚え、もしくは記憶違いがあるうし、あて推量もあるので忌憚なき、御叱正など賜われれば幸いに存じます。

写真や思い出話などを 募集

御宿広報では、現在、一枚の写真をもとに、町民のみなさんに思い出を語っていただく「なつかしの風景」を連載しています。

昔なつかしい御宿の風景写真や、それにまつわる思い出話を

どがありましたら、町総務課広報係、または、歴史民俗資料館までご連絡ください。

(連絡先)

○町総務課広報係(電)二五一一
○歴史民俗資料館(電)四三一一

岩崎・畑中両氏が受賞

— 県政功労者 —

長年にわたり、県内の各分野

で活躍、地域社会の発展に貢献

した人々を顕彰する「県政功労

者」の表彰式が、十一月三日、

県議会議場で行われました。

今年表彰された方々は、三十

の分野で、個人八十六氏と八団

体。

御宿町からは、つぎの方々が

表彰されました。

【地方自治功労】

岩和田一〇四七番地

岩崎栄一郎氏（町議会議員）

【水産功労】

岩和田一〇一五ノ二番地

畑中常司氏（県漁業共済組合

長）

日赤三十五周年大会で表彰

日赤県支部、赤十字奉仕団県支部委員会などの主催で「赤十字奉仕団創設 青少年赤十字再

建三十五周年記念県大会」が、十一月五日、県文化会館大ホールで開かれました。

この大会の席上、厚生大臣特別表彰に輝いた上布施二一九四番地、大地直枝さんに、表彰状が伝達されました。

ポスター展でも

二人が入選

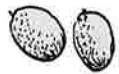
また、同時に青少年赤十字ポスター展の表彰も行われ、岩和田小学校一年、小松智美さんが日赤県支部長賞を受章。同じく岩和田小学校一年山田崇くんが銅賞に入選しました。



▲ポスター展で入選した小松さん(左)と山田君

特産地めざして

キウイフルーツ出荷



▲出荷量の増加により、最新鋭の選別機を導入

果実の王様、キウイフルーツの出荷が、十月二十七日から夷隅中央農協で始まりました。御宿町からは、生産農家七軒から、約三・六トンが出荷されました。夷隅地方のキウイフルーツの出荷は今年で三年目、昨年の出荷量の二倍約一万箱、三十

七トンが、東京の市場に送られます。

キウイフルーツは、他の果実と比べ、商品価値が高く、しかも全国的に生産農家が少ないことから、関係者は、夷隅地方を特産地に、と意欲的です。

十五秒ごとの緊張

救急車は

忙しい!



人間だれしも緊張する瞬間はあるはず。でも、緊張の連続では体がまいってしまいます。救急車も同じこと。五十七年の一年間に救急車が出動した件数は、全国で二百三十三万件。平均すると、十五秒に一回の割合となります。また、病院に運んだ患者さんの数は、二百五十万人にも上ります。この二百五十万人の中には、交通事故や急病のため、生死が分かれるような重傷の人もいます。しかし、約半数は結果的に入院の必要がなかった人で、なかに

ねたきり老人

看護教室開く

十月二十七日、御宿町公民館で、ねたきり老人看護教室が開催されました。

現在、千葉県内には、約五千人のねたきりのお年寄りがあり、

大部分は、家族の方が看護にあっています。

今回開催された講習会は、家庭でお年寄りの世話にあたって

役になつようにと、日本赤十字社千葉支部の谷初子さんを講師に、実技指導をまじえて行われました。



▲多くの女性ボランティアが聴講

昭和五十八年度年末・年始の交通事故防止運動が、十二月十二日(月)から実施されます。

年末・年始は、忘年会や新年会など、とかく飲酒の機会があります。気ぜわしさも加わり、交通事故が多くなるのが予想されます。悲惨な交通事故をなくすため家庭、学校、職場で交通安全について話し合い、事故のない明るいお正月を迎えましょう。

年末・年始の事故防止

交通ルールを守ろう。

飲酒運転は、ほかの犯罪に比べて執行猶予が少なく、実刑、厳罰主義がとられています。

飲酒運転で罰せられるのはドライバーだけではありません。目上の人などが、酒を飲んで

いる人に車の運転を強要すると処罰されます。

また、ドライバーに酒を勧め

ることも禁止されています。飲酒運転をなくすためには、家庭や職場、地域社会などで、「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない、飲ませない」という鉄則を確立することです。

もちろん、最も大切なのは、「私は絶対に飲酒運転はしない」というドライバーの自覚であることは、言うまでもありません。

飲酒運転はモラルの問題

常に、心身ともに万全な状態でハンドルを握る——ドライバーである以上、必ず守らなければならない基本的なモラルの一つです。

道路交通法は、何人も酒気を帯びて車両等(自動車、原動機付自転車など)を運転してはならない」と定めています。そうと知りながら、酒を飲んで車を運転することは、最も恥ずべき行動と言えます。

交通事故発生状況

	10月31日現在	町内	県内
発生件数	23件	13,841件	
死者数	0人	322人	
負傷者数	34人	17,724人	

は救急車を呼ぶこともなかった、という例もあります。

軽い気持ちで利用することが、救急車を本当に必要とする人を死に追いやっていくかもしれない。救急車の利用には、もっと細心でありたいものです。

なお、休日で病院が見つからないときは、テレホンサービスをご利用ください。



ごぞんじですか

休・祭日診療

テレホン・サービス

休日や祭日に病気になるって医者で診てもらえず、お困りになった方も多いと思います。

夷隅郡では、このような休日や祝祭日の急患に備えて、医師会の協力で、日曜在宅医制度をとっています。

休日、祭日に急患が出たら、医師会のテレホン・サービスセンターへご連絡ください。

電話番号は、04706(大原) 1310411です。

なお、休日診療は午前九時から午後五時までです。

ご利用下さい (各種相談)

12月

表彰

成績が優秀なため。

▽安全運転優良事業所表彰
上布施一七二二ノ一

石井建設株式会社

十月二十九日、大原地区安全
運転管理者協議会総会の席上、
安全運転管理に尽力し、事故防
止に貢献したことにより表彰。

▽国民年金写真コンクール入選
久保一三二〇 石井春司さん

出品作「御宿海岸 日の出」

▽全国民生委員児童委員協議会
長表彰

岩和田 玉田初子さん
民生委員、児童委員として地

域の福祉向上に尽した功績。

★ おくやみ ★★

十月届 男8 女5 計13

区名 死亡者 年齢

須賀 津守 國松 81

高和田 井上富美夫 71

新町 内山 保 59

岩和田 丸山 トキ 77

山口 重夫 77

水野 まん 94

北奥 いち 78

植田 熊吉 86

吉野 宇め 86

美谷 新井 五郎 58

上布施 86

消費生活セミナーのびろろ

12月7日から

大原町で開講

千葉県、千葉消費生活センタ
ーでは、消費者の皆さんを対象
に「消費生活セミナー」を開催
します。ぜひ参加され、毎日の
暮らしに役立てていただきたい
と考えます。

講座は、三回開かれ、受講料
は無料です。全回受講された方
には、修了証をお渡しします。

相談名	月・日	時間	場所	備考
健康相談	12月2日		新久井青年館	どなたでも
血圧相談	12月9日	午前9時 30分から	公民館	どなたでも
乳幼児相談	12月13日	午後1時 30分から	公民館	一歳未満の方、母子手 帳問診票を忘れずに
心配ごと相談	12月22日	午前9時 30分から 正午	社会福祉 センター	民生委員、行政相談員 などが、ご相談を受け します。
農事相談	12月中旬	午前9時 30分から 正午	社会福祉 センター	農地の問題などでお悩 みの方

※相談日は、都合により変更になることがあります。その都度有線放送でお知らせします。

○日程

第3回	第2回	第1回	月・日	時間	テーマ	講師	場所
12月21日	12月14日	12月7日					
"	"	午後1時30分、 午後3時30分			訪問販売に ついて	国民生活センター 吉田良子先生	大原町役場 会議室
熟年女性の 生きがいとは	より安全な 食生活のために						
生活評論家 金森房子先生	消費者問題研究家 増尾 清先生						
"	"						

※なお、「消費生活セミナー」受
講希望者は、御宿町商工観光課
までご連絡ください。



★ おめでた ★★

十月届 男6 女2 計8

区名 出生児 保護者

須賀 山田 博久 藤 夫

久保 君塚 将人 憲 司

新町 和田 弘 勝 繁 好

岩和田 宇佐美智子 浩

高田 慎也 宏

後藤 友香 貴

12月の統計調査

▽工業統計調査

○58年12月31日現在で実施。

○対象 製造業を営む事業所。

※年末・年始でご多忙と思いま

すが、ご協力をお願いします。

人口	
10月末現在	
前月比	
男	3,953人(△4)
女	4,363人(△11)
計	8,316人(△15)
世帯数	2,472世帯(〇)

発行責任者 千葉県御宿町
高梨 秀治
編集 総務課広報係